

令和元年度 横浜市永田地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

南区は高齢化率の高い地域であり、北永田地区、永田みなみ台地区、南永田山王台地区も高齢者の多い地域になる。地域のほとんどが住宅地であり、長く定住されている方が多く、独り暮らし高齢者が増えてきている。各地区ともに地域活動は活発だが担い手不足が深刻化し、新たな担い手の確保が急務となっている。また、外国人居住者も増えてきており、生活環境が変化してきている。

今後の方向性として高齢化が進んでいることから、地域ケア会議等で地域課題の解決を図り、認知症サポーター養成講座を継続して開催し、住みやすい環境づくりを構築する。また、担い手不足が深刻なため、地域に向けてボランティア活動を紹介し、新たな担い手を発掘し活動に繋げていく。外国人居住者に対しては、気軽に話し合える場を提供するためサロンの開設を検討する。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症サポーター養成講座をキャラバンメイトや地区社協と共催し、認知症についての正しい知識や対応について普及活動を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域ケア会議や協議体の充実を図り、福祉保健団体のほか民間企業やNPO法人など幅広い関係者の参加を求め、ネットワークの一層の拡大や強化を目指す。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアマネ勉強会『やまさかネット』をケアプラザの施設協力医と協働して年6回開催し、医療関係者と連携が図れ、利用者中心とした支援が円滑に行われるよう関係を構築していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	職員全体会議や5職種会議などで情報を共有し、課題解決を図る。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の会合やお祭りに参加し、地域の方々へボランティア活動の紹介やシニアボランティアポイントの受講などを紹介する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

年度の初めより包括への相談が多く、高齢者が増えている現状を実感する一年でした。地域への認知症サポーター養成講座は、毎年行っている小学校、老人会や町内会自治会で開催したほか、永田地区センターと共催して地区センターの利用者に対する講座を開催しました。地域ケア会議や協議体については地域の課題を取り上げ開催し、六ツ川地域ケアプラザと共催している『お出掛け会議』は次年度以降も継続して実施し、地域の方と課題解決に努めていきます。ケアマネ勉強会の『やまさかネット』は、協力医とともに定期に開催し、地域のケアマネジャーとの交流やスキルアップに役立てています。施設内では、職員全体会議などを通して情報共有を図り課題解決に取り組みました。その他、地域のイベントに多く参加することで顔の見える関係を構築し、気軽に相談できる窓口として周知しました。今後も『住み慣れた街でいつまでも健康に安心して暮らしていただく』ことを目標に事業を展開していきます。

区からのコメント

・地域活動への積極的な参加や関係機関と情報交換の機会の活用などにより地域情報を把握し、永田エリア3地区それぞれの課題や地域ニーズに応じて丁寧に支援を行っています。特に、エリア内には大規模団地があり、高齢化に伴う生活支援等課題は多くありますが、引き続き区を始め関係機関と連携しながら取り組んでいてもらいたいです。また、ケアプラザ事業に関しては関係団体と連携しながら継続的に事業を実施することで、参加者をボランティアとして引き込む工夫を行い、効果的に実績をあげています。引き続き、地域住民に寄り添いながら地域課題に向き合ってください。

・毎月キャラバンメイト連絡会を実施し、キャラバンメイトの気持ちや、やりがいを尊重しながら、講座内容の改良や講座開催に向けた、綿密な話し合いや調整をしていました。講座も好評で、地域に根差した普及啓発の効果が大きいと感じます。郵便局等からサポーター養成講座の開催を希望する声も出ており、来年度は地域の関係機関と連携しながら事業展開していくことを期待しています。お出かけ会議については、関係機関との情報共有を密に行い、地域の意見を吸い上げながら進めています。いろいろな考えの方がいるので難しい面もありますが、生活支援の視点だけでなく、地域ケア会議と連携する等、包括他職種とも協力しながら、取組を進めてください。

令和元年度永田地域ケアプラザ事業計画書・事業報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組 計画	<p>包括支援センターが要介護者等から相談を受け、居宅介護支援事業所を選択するにあたり、適切な情報提供をおこない当事者自身で選んでいただけるよう支援する。具体的には、『ハートページ』で情報提供を行い、多様な事業所から選んでいただく体制を整える。また、選択された事業所をカウントすることにより、大幅な偏りが発生しないようにチェックする。</p>	<p>事故防止策では、「横浜市地域ケアプラザ・事故防止の手引き」を職員がいつでも閲覧できる場所に置き意識向上に努める。また、「手引き」をテキストとして内部研修で活用し、事故の予防に努め、事故発生時には事故対応マニュアルに則り対応を行えるように備える。「防げる事故は起こさない」「事故は未然に防ぐ」を目的とし「ヒヤリハット報告書」を活用することでリスク管理を行いその防止に努める。</p> <p>事故発生時は、初動対応を正確かつ迅速に行い、関係機関に連絡、報告を義務づける。また、再発防止の為に「報告書」の作成を行い、職員全員に回覧する。通所介護では、事故防止の意識が向上するように月例の会議や毎日のミーティングで事故事例の検証や事故予防の啓発を行う。</p> <p>法人の「個人情報保護に関する基本方針」及び「個人情報管理規定」に基づき個人情報の管理保護に努める。個人情報のFAX送信時、郵送時には必ず二人体制でダブルチェックを行い、誤送付防止に努める。職員全体会議時に個人情報保護の取り扱いについての研修を行う。USBメモリは原則使用せず、特別に必要と認められる場合を除き(出前講座など)USBメモリの持ち出しをしないように徹底する。</p>
実績	<p>利用者からの相談において、居宅介護支援事業所の選定やサービスの提供に対しては、丁寧な聞き取りを実施し、『ハートページ』を提示したうえで、利用者自身で選択できる支援を行った。保険給付などのデータをもとに事業所の選定については偏りが無いよう配慮した。</p>	<p>職員会議等において、事故事例をもとに事故防止の徹底を図った。個人情報保護では、個人情報保護に関する研修を実施し、郵送やFAXなどで個人情報を送る際にはダブルチェックを行うことを徹底した。</p>

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業										
目標	指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業では、利用者の身体の状態や生活環境を考慮し、介護保険制度の理念でもある自立支援を促す。また、ケアマネジメントの展開が難しい方(高齢者虐待など)は、地域包括支援センター職員と相談し関係機関と協働して支援する。要支援1・2、総合事業対象者の利用者は毎月210件前後の担当を行っている。このうち70%程度を居宅介護支援事業所に委託する。	ケアプラン作成にあたっては、利用者の身体の状態や生活環境を考慮し、介護保険制度の理念でもある自立を支援する。また、ケアマネジメントの展開が難しい方(高齢者虐待など)は、地域包括支援センター職員と相談し関係機関と協働して支援する。 介護支援専門員常勤換算あたり1名の契約目標を介護・予防含めて39件とする。										
職員体制	地域包括支援センター職員が中心となり、総合事業対象者や要支援の認定を受けた利用者のニーズを把握し、介護予防サービスを適切に受けられるように計画策定及び支援を行う。地域包括支援センターが担当している利用者については、居宅介護支援事業と協力し3職種の仕事に影響が出ないように調整しながら対応する。 管理者 1名 保健師(看護師) 1名 主任ケアマネジャー 1名 社会福祉士 1名 加配職員 1名(欠員)	管理者 1名(常勤兼務) 主任介護支援専門員 1名(常勤) 介護支援専門員 3名(常勤兼務1名)										
利用者実績(人)	包括支援センター3職種が協働し、適切に相談業務、専門性を生かした講座などを実施した。今年度は、加配職員が年間を通して欠員となってしまった。	職員4名体制で実施し、2名が主任介護支援専門員の資格を取得した。1名あたりの契約件数は34.4件となり目標を下回った。職員の異動や入院・療養により担当数を制限したことが原因となった。										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	248	246	243	245	243	247	97	97	95	100	105	107
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	251	248	243	241	241	230	109	108	106	108	106	100

## 3 通所系サービス事業

	通所介護 認知症対応型通所介護	第1号通所事業 介護予防認知症対応型通所介護
目標	通所介護では、『地域に必要とされるデイサービス』を目標に掲げ、安全で安心して利用できるデイサービスを目指す。利用者のニーズを十分に把握し、利用者一人一人に寄り添った支援を実践する。またサービスの質を向上させるため、定期的な職員研修を実施する。安定した運営のために、新規利用者の継続的な確保、稼働率の向上を目指す。利用のキャンセルについてはその理由を分析し、利用者満足度の向上に努める。	住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るよう地域包括ケアシステムの一部を担うサービスを提供する。体操やレクリエーションを通じた機能訓練の充実や食事などの日常生活の支援を利用者の意向を踏まえ提供し、いつまでも健康で生活できるよう支援する。また、高齢者ボランティアを積極的に受け入れ、地域での社会参加の機会を提供する。

実施体制	【実施日数】週 7 日 【提供時間】9:30 ~ 16:30 【定員】40名	【実施日数】週 7 日 【提供時間】9:30 ~ 15:30 【定員】40名										
実費負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1割負担分</li> <li>(要介護1) 692円</li> <li>(要介護2) 816円</li> <li>(要介護3) 947円</li> <li>(要介護4) 1,076円</li> <li>(要介護5) 1,205円</li> <li>●入浴介助加算 54円</li> <li>●サービス提供体制加算 I 2 13円</li> <li>●食費負担 750円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1割負担分</li> <li>(要支援1) 1,766円</li> <li>(要支援2) 3,872円</li> <li>●サービス提供体制加算 I 2</li> <li>(要支援1) 52円</li> <li>(要支援2) 103円</li> <li>●食費負担 750円</li> </ul>										
職員体制	<p>管理者 1名(常勤兼務)</p> <p>生活相談員 3名(常勤兼務3名)</p> <p>看護職員 5名(非常勤兼務5名)</p> <p>機能回復訓練指導員 5名(非常勤兼務5名)</p> <p>介護職員 17名(常勤兼務3名、非常勤兼務14名)</p> <p>運転手 7名</p> <p>事務員 1名(常勤兼務1名)</p>	<p>管理者 1名(常勤兼務)</p> <p>生活相談員 3名(常勤兼務3名)</p> <p>看護職員 5名(非常勤兼務5名)</p> <p>機能回復訓練指導員 5名(非常勤兼務5名)</p> <p>介護職員 17名(常勤兼務3名、非常勤兼務14名)</p> <p>運転手 7名</p> <p>事務員 1名(常勤兼務1名)</p>										
利用者実績(人)	年間の平均は26.1人となり目標を下回った。年度初めの稼働が低かったことが影響している。通所計画では生活意欲が増進するような機能訓練、レクリエーションを実施した。						運動機能を維持するための体操等を取り入れ、日常生活の支援を目的としたサービス提供を行った。また、利用日の振り替えなど利用者の要望に応じた柔軟な対応を行った。					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	693	707	636	658	686	677	14	14	13	15	16	17
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	726	719	646	687	721	764	18	17	15	17	19	20

## 永田地域ケアプラザ

## 令和元年度 自主事業計画書・報告書

事業	1 地域活動交流事業	5 共催(1と3)
	2 地域包括支援センター運営事業	6 共催(2と3)
	3 生活支援体制整備事業	7 3事業共催(1と2と3)
	4 共催(1と2)	

事業の性質 1 優先的に取り組みが求められる事業

対象者	1 高齢者	5 地域
	2 障害児・者	6 事業者
	3 養育者及び乳幼児	7 その他
	4 子ども・青少年	

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
1	永田支えあい祭り	H15年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	地域の活性化と異世代交流のネットワークづくりのため	実施内容: 地域で活動している福祉保健活動団体をPRする場として、ブース出店(食べ物、手芸、健康チェック、おもちゃ病院など)、プラスバンド演奏・ダンベル体操・認知症サポーター養成講座などをおこなう。祭りの運営については、実行委員会形式です。地域を主体におこなう。 実施回数: 1回 実施時期: 4月13日	1	約800
2	子育てサロンたんぽぽ	H14年	1 地域交流	3 乳幼児		2 ね 発展させる	未就園児とその保護者を対象にしたサロン。	ボランティアが子供達を見守り自由に遊べるスペースを提供。また月に1度、45分程度のお楽しみタイムを設ける。お楽しみタイムは、水遊びやクリスマス会など季節に合った遊びを楽しむ。近隣の永田保育園やさくらザウルスから講師に来ていただき協力してもらった場合もある。 実施回数: 22回 実施時期: 毎月第1木・第4水曜日	19	270
3	永田囲碁・将棋クラブ	H16年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: 地域住民の交流	実施内容: 大人向けの囲碁将棋クラブ 実施回数: 24回 実施時期: 第2・第3土曜日	19	106
4	親子料理教室	H17年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: 食育	実施内容: 未就学児の親子を対象に料理の楽しみを体験し、食の大切さを学ぶ。 実施回数: 2回 実施時期: 6/30、11/30	2	68
5	お楽しみ講座	H15年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: 誰もが気軽に参加できる講座を行う事で、普段ケアプラザを利用していない方に、ケアプラザを知ってもらう機会とする。	実施回数: 4回 実施時期: 7/2、7/6、8/3、10/26	4	40
6	育児講座	H19年	1 地域交流	4 子ども	3	2 ね 発展させる	実施目的: 地域の子育て支援	実施内容: 6/23は保育園で実施。9/5はケアプラザで行い『保育士と新聞紙で遊ぶ』 実施回数: 2回 実施時期: 6/23、9/5(35名)	2	35
7	障がい児支援企画「ハオハブ」	H18年	1 地域交流	2 障害者		2 ね 発展させる	実施目的: 障害児の余暇支援活動。 対象者: 南区に在住の知的に障がいがある小学生と中学1年生。	実施回数: 数回		未実施
8	障がい児支援企画「カフェ・スマイル」	H22年	1 地域交流	2 障害者		2 ね 発展させる	実施目的: 知的障害がある中高生および成人の居場所作り。 対象者: 南区に在住の知的に障がいがある中高生および成人	活動内容: ケアプラザで、プログラムは設けず、出入り自由に、好きな時に来て、過ごせる時間を過ごす。 実施回数: 1回 実施時期: 7月第4日曜日→9/11に実施	1	50
9	ボランティア交流会	H15年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: ケアプラザで活動するボランティアの交流の場作り。	実施内容: 活動しているボランティアとの意見交換会。 実施回数: 2回 実施時期: 7月、3月を予定	1	53
10	永田支えあいネットワーク	H15年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: 日常生活圏域において、福祉保健活動を実施している団体、グループ、個人等の連携をはかり、それぞれの活動の推進とともに、「地域の中で支えあう」地域づくりを目指す。	実施内容: 毎回テーマを決め、そのテーマに沿った情報交換や意見交換を行っていく。 実施回数: 1回		未実施

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
11	味噌づくり講座	H22年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: 地域の方の集いの場づくりと、「味噌づくり」を通じて、子育て世代とシニア世代の交流を図る。	実施背景: これまでお楽しみ講座の中で培ってきた知見をすべてのサブコーディネーターが修得。サブコーディネーターが講師役となり、事業を実施する。 実施回数: 1回 実施時期: 1月～2月	未実施	
12	子どもの見守りボランティア講座	H29年	1 地域交流	5 地域	3	2 ね 発展させる	実施目的: 地域の活動においては、次世代を担う担い手の育成が急務となっていることから、新たなボランティアの担い手を発掘し、子育て支援の充実を図る。	実施内容: 保育ボランティアを養成する。 実施回数: 2回 実施時期: 7月～9月	未実施	
13	永田deはぐくむ わくわく教室	H29年	1 地域交流	4 子ども	3	1 り 優先的に取る	実施目的: 赤ちゃん学級(1歳未満の第1子など)の対象とならない、あるいは卒業した保護者を対象に、(保育園入園前)の保護者同士の交流と地域とのつながりづくりを目指す。	実施内容: 講義や実習を通し、親と子が楽しく学び、集う講座を開催する。保育付講座とし、前述の保育ボランティア養成講座を受講した方の活動の場としてスタートさせる。また、運営については、3地区の子育てサロンの担い手にも関わってもらい、お互いのサロンの情報交換の場としても機能させることが望ましい。 実施時期: 8回 実施時期: 11/8、11/15、11/22、	8	217
14	貸館利用団体交流会	H29年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: ケアプラザを利用する各団体が一堂に会し、情報共有を図るとともに、活動を促進し、地域福祉保健活動を推進する。	実施内容: 各団体会員に参加を促し、団体活動のPRや意見交換をおこなう。 実施回数: 年1回 実施時期: 11/16	1	53
15	子ども青少年向け講座	H30年	1 地域交流	4 子ども		2 ね 発展させる	実施目的: 小学校PTAと連携を図り、地域向けに講座を開催し、子どもの人権を守る、あるいは、暴力防止を考える機会とする。	実施内容: CAP(子どもへの暴力防止を目的とした人権教育プログラム)等の啓発講座を想定。 年1回 実施時期: 未定	未実施	
16	外国につながる方のある方交流事業	H29年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: 永田みなみ台地区には、外国につながる方がある方が多数暮らしている。接点を持つ事で、ニーズを把握し、地域で支えるきっかけづくりを目指す。また、実施にあたっては、近隣の高校(横浜国際高校)のニーズを取り入れながら、連携を図る。	実施内容: 地域の住民と当事者とかが交流が図れるような講座(料理教室など)を開催する。 実施回数: 1回 実施時期: 未定	未実施	
17	年末大掃除大会	H29年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: ボランティアをする機会の提供と参加者間の交流を図る。	実施内容: 館内及び周辺道路の清掃と、掃除終了後に、茶話会を開催する。 実施回数: 1回 実施時期: 11/28	1	24
18	永田ビエンナーレ国際児童画巡回展	H30年	1 地域交流	4 子ども	5	2 ね 発展させる	実施目的: 南区在住の外国人は年々増えており、現在、横浜市で3番目に多い状況である。永田にも多数の外国人が住んでいることから、永田に住む地域の方に、絵画を通して、外国を紹介し、国際理解と国際交流を図る。また、各地域との連携を図る機会とする。	実施内容: カナガワビエンナーレ国際児童画展の選外作品100作品が寄贈されることになった。その絵画を小学校、中学校、幼稚園などで掲示してもらい、一定期間絵画展を開催する。 実施回数: 年数回 実施時期: 5月以降	未実施	
19	地域のお祭り	H15年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	地域の活性化と異世代交流のネットワークづくりを図る。	実施内容: 地域の中で、ケアプラザのPRする場として、ブース出店。 実施回数: 年1回 実施時期: 11/24(地区センター祭り)	1	多数
20	地域の集いの場マップづくり	H28年	3 事業 体制整備 生活支援	5 地域		2 ね 発展させる	これまで地域ケア会議や地区活動を通じて得られた情報をデジタルマップを使用し、地図上に整理する。	協議体の『お出掛け会議』で実施。		
21	サロンづくりの支援	H28年	3 事業 体制整備 生活支援	5 地域	1	2 ね 発展させる	各地区で個人・町内会単位で「サロンを立ち上げたい」という話を聞く。サロンの立ち上げが実現できるよう、支援をする。	体操教室、スリーA教室の立ち上げを支援		
22	生活支援に関するボランティア講座	H28年	3 事業 体制整備 生活支援	5 地域		2 ね 発展させる	ちよこつとボランティアのきっかけになるボランティア講座を実施。現在、すでに地域で活動している方の参加も含め「ボランティア」とは何か、「生活支援」とは何かをイメージできるような講座を実施する。	3回シリーズ(下半期)	未実施	
23	認知症サポーター養成講座	H22年	(6 2と3) 共催	5 地域		2 ね 発展させる	地域交流CO、生活支援COと連携をはかり、地域における認知症普及啓発を行っていく。	地区社協、町内会、各老人会との共催することで認知症の普及啓発を地域に浸透させ、認知症になっても安心して生活できる町づくりを行う。 実施時期: 8/28(永田地区センター)	1	46
24	認知症キッズサポーター養成講座	H22年	(7 3と2) 共催	4 子ども	3	2 ね 発展させる	成長途上にある子供たちに認知症のことについて正しく伝えることで、身近にいる認知症高齢者に対して優しい気持ちで向き合えるようにする。また実際に認知症高齢者に出会った場合どのような対応をしたら良いか、考えてもらう。	永田小、永田台小の5年生、永田中の3年生を対象とする講座の開催 各校1回 実施時期: 11/11(永田台小)、2/4(永田小) 永田中(未実施)	2	178

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
25	ケアマネジャー勉強会	H26年	2 包括	6 事業者		せ 2 る ね 展 い さ	ケアマネネットワークに登録している地域のケアマネジャーの自主的な活動とする。	輪番制で担当事業所を決め内容は事例検討、疾病勉強などケアマネ業務に関するものを勉強していく。また協力医である南水田診療所の水谷医師の協力をえてケアマネの医療に関する知識の向上につとめていく。 実施時期:4/28、5/10、5/24、6/7、7/15、7/29	19	190
26	民生委員とケアマネ交流会	H26年	2 包括	5 地域	6	せ 2 る ね 展 い さ	民生委員とケアマネジャーの交流を通して「顔の見える関係」を構築する。	課題を共有し、各々の役割を十分に理解し地域支援に役立てる。 年に1回	未実施	
27	介護者サロン	H26年	2 包括	1 高齢者	5	せ 2 る ね 展 い さ	介護にかかわる地域の方を対象に介護についての悩みなどを共有し介護に役立てる	ケアプラザを会場として、包括職員が話を聞く。 2ヶ月に1回 実施時期:4/5、6/4、8/6、10/1、12/3、2/4	6	8
28	スリーA教室	H31年	3 援 体 制 整 備 支 援	1 高齢者		せ 2 る ね 展 い さ	認知症予防の取組みを通じ、地域のとつての居場所となるように働きかける。講師は認知症予防スリーAインストラクター。	認知症予防に効果のあるスリーAプログラムと茶話会 実施時期:10/17、11/21、1月より定期開催。3月未実施。	4	80



令和元年度「横浜市永田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,694,717	1,803,562	17,498,279	17,498,279	0	指定管理料
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0	0	0	81,700	△ 81,700	自主事業収入
雑入	0	0	0	135,844	△ 135,844	
印刷代	0	0	0	0	0	なし
自動販売機手数料	0	0	0	39,320	△ 39,320	自動販売機手数料
その他	0	0	0	96,524	△ 96,524	多目的ホール大型テレビ寄附・コピー機使用料
その他	4,244,411	0	4,244,411	3,714,990	529,421	利用料金活用・施設使用料相当額
収入合計	19,939,128	1,803,562	21,742,690	21,430,813	311,877	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,258,000	0	11,258,000	11,753,328	△ 495,328	
本俸	7,791,000	0	7,791,000	7,779,420	11,580	本俸
社会保険料	1,518,000	0	1,518,000	1,384,334	133,666	社会保険料
手当計	1,794,000	0	1,794,000	2,417,822	△ 623,822	手当計
健康診断費	33,000	0	33,000	14,831	18,169	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	なし
退職給付引当金繰入額	122,000	0	122,000	114,083	7,917	退職給付引当金繰入額
その他	0	0	0	42,838	△ 42,838	その他
事務費	930,000	0	930,000	1,238,321	△ 308,321	
旅費	10,000	0	10,000	801	9,199	旅費
消耗品費	450,000	0	450,000	248,098	201,902	消耗品費
会議随い費	5,000	0	5,000	1,886	3,114	会議随い費
印刷製本費	23,000	0	23,000	5,738	17,262	印刷製本費
通信費	245,000	0	245,000	194,937	50,063	通信費
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0	0	0	0	0	なし
その他	0	0	0	0	0	なし
備品購入費	0	0	0	75,384	△ 75,384	テレビ
図書購入費	0	0	0	0	0	なし
施設賠償責任保険	10,000	0	10,000	9,532	468	施設賠償責任保険
職員等研修費	0	0	0	0	0	なし
振込手数料	7,000	0	7,000	440	6,560	振込手数料
リース料	169,000	0	169,000	0	169,000	なし
手数料	11,000	0	11,000	6,996	4,004	手数料
地域協力費	0	0	0	0	0	なし
その他	0	0	0	694,509	△ 694,509	その他
事業費	211,000	0	211,000	399,722	△ 188,722	
運営協議会経費	42,000	0	42,000	6,976	35,024	運営協議会経費
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	169,000	0	169,000	392,746	△ 223,746	自主事業費
その他	0	0	0	0	0	
管理費	5,930,000	0	5,930,000	4,671,681	1,258,319	
光熱水費	3,395,000	0	3,395,000	2,972,331	422,669	光熱水費
清掃費	310,000	0	310,000	161,858	148,142	清掃費
機械警備費	150,000	0	150,000	109,946	40,054	機械警備費
設備保全費	1,775,000	0	1,775,000	1,121,425	653,575	
空調衛生設備保守	450,000	0	450,000	419,626	30,374	空調衛生設備保守
消防設備保守	230,000	0	230,000	93,922	136,078	消防設備保守
電気設備保守	480,000	0	480,000	430,420	49,580	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	70,000	0	70,000	38,578	31,422	害虫駆除清掃保守
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	なし
その他保全費	545,000	0	545,000	138,879	406,121	その他保全費
共益費	300,000	0	300,000	183,845	116,155	共益費
その他	0	0	0	122,276	△ 122,276	その他
修繕費	474,000	1,835,962	2,309,962	2,309,962	0	修繕費
公租公課	900,640	0	900,640	1,057,799	△ 157,159	
事業所税	0	0	0	0	0	なし
消費税	900,640	0	900,640	1,057,799	△ 157,159	消費税
印紙税	0	0	0	0	0	なし
その他	0	0	0	0	0	なし
その他	235,488	0	235,488	0	235,488	なし
支出合計	19,939,128	1,835,962	21,775,090	21,430,813	344,277	
差引	0	△ 32,400	△ 32,400	0	△ 32,400	

自主事業費 収入	0	0	0	81,700	△ 81,700
自主事業費 支出	169,000	0	169,000	392,746	△ 223,746
自主事業 収支	△ 169,000	0	△ 169,000	△ 311,046	△ 271,582

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	39,320	△ 39,320	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	39,320	△ 39,320	

※各々大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和元年度「横浜市永田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部							(単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
指定管理料【包括】	29,085,899	0	29,085,899	23,480,147	5,605,752	指定管理料	
指定管理料【介護予防】	152,400	0	152,400	152,400	0	指定管理料	
指定管理料【生活支援】	5,792,000	0	5,792,000	5,792,000	0	指定管理料	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0	0	0	0	0	なし	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0	0	0	0	0	なし	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0	0	0	0	0	なし	
雑入	0	0	0	39,319	△ 39,319		
印刷代	0	0	0	0	0		
自動販売機手数料	0	0	0	39,319	△ 39,319	自動販売機手数料	
その他	0	0	0	0	0		
その他	4,982,000	0	4,982,000	389,981	4,592,019	利用料金の活用	
収入合計	40,012,299	0	40,012,299	29,853,847	10,158,452		

支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,689,000	0	32,689,000	26,219,793	6,469,207	
本俸	27,627,000	0	27,627,000	14,390,779	13,236,221	本俸
社会保険料	4,435,000	0	4,435,000	3,521,893	913,107	社会保険料
手当計	0	0	0	7,733,402	△ 7,733,402	手当計
健康診断費	94,000	0	94,000	37,950	56,050	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	
退職給付引当金繰入額	533,000	0	533,000	428,107	104,893	退職給付引当金繰入
その他	0	0	0	107,662	△ 107,662	その他
事務費	1,303,000	0	1,303,000	1,130,691	172,309	
旅費	24,000	0	24,000	6,995	17,005	旅費
消耗品費	500,000	0	500,000	39,956	460,044	消耗品費
会議滞在費	0	0	0	0	0	なし
印刷製本費	20,000	0	20,000	7,028	12,972	印刷製本費
通信費	290,000	0	290,000	174,249	115,751	通信費
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0	0	0	0	0	なし
その他	0	0	0	0	0	なし
備品購入費	200,000	0	200,000	0	200,000	なし
図書購入費	0	0	0	0	0	なし
施設賠償責任保険	4,000	0	4,000	9,532	△ 5,532	施設賠償責任保険
職員等研修費	20,000	0	20,000	2,491	17,509	職員等研修費
振込手数料	35,000	0	35,000	540	34,460	リース料
リース料	200,000	0	200,000	0	200,000	なし
手数料	5,000	0	5,000	6,996	△ 1,996	手数料
地域協力費	0	0	0	0	0	なし
その他	5,000	0	5,000	882,904	△ 877,904	ノートパソコン等
事業費	1,190,000	0	1,190,000	1,135,532	54,468	
協力医	630,000	0	630,000	504,000	126,000	協力医謝金
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000	0	100,000	0	100,000	なし
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000	0	151,000	162,031	△ 11,031	自主事業費（介護予防）
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	309,000	0	309,000	469,501	△ 160,501	自主事業費（生活支援）
その他	0	0	0	0	0	なし
管理費	4,704,299	0	4,704,299	1,241,831	3,462,468	
光熱水費	765,000	0	765,000	790,113	△ 25,113	光熱水費
清掃費	330,000	0	330,000	43,024	286,976	清掃費
機械警備費	0	0	0	29,226	△ 29,226	機械警備費
設備保全費	500,000	0	500,000	298,095	201,905	
空調衛生設備保守	150,000	0	150,000	111,546	38,454	空調衛生設備保守
消防設備保守	40,000	0	40,000	24,966	15,034	消防設備保守
電気設備保守	150,000	0	150,000	114,412	35,588	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	40,000	0	40,000	10,254	29,746	害虫駆除清掃保守
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	なし
その他保全費	120,000	0	120,000	36,917	83,083	その他保全費
共益費	100,000	0	100,000	48,869	51,131	共益費
その他	3,009,299	0	3,009,299	32,504	2,976,795	その他
修繕費	126,000	0	126,000	126,000	0	修繕費
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	なし
消費税	0	0	0	0	0	なし
印紙税	0	0	0	0	0	なし
その他	0	0	0	0	0	なし
その他	0	0	0	5,605,752	△ 5,605,752	人件費戻入分
支出合計	40,012,299	0	40,012,299	35,459,599	4,552,700	
差引	0	0	0	△ 5,605,752	5,605,752	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	560,000	0	560,000	631,532	△ 71,532	自主事業費支出
自主事業 収支	△ 560,000	0	△ 560,000	△ 631,532	71,532	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	39,319	39,319	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	39,319	39,319	

※各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和元年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市永田地域ケアプラ

平成31年4月1日~令和2年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	8,158	8,254	-96	6,788	7,867	-1,079	15,410	13,252	2,158	83,598	70,935	12,663	9,146	4,665	4,481
	その他	0	0	0	0	0	0	193	248	-55	10,314	20,556	-10,242	1,395	1,155	240
	事業・負担金収入	0		0	0		0	0		0	15	0	15	0		0
	雑収入	0		0	0		0	0		0	0	202	-202	0		0
	職員給食費収入	0		0	0		0	0		0	252	179	73	0		0
	利用者等利用料収入	0		0	0		0	0		0	6,459	15,165	-8,706	1,395	1,155	240
	受託収入	0		0	0		0	193	248	-55	0	0	0	0		0
	その他	0		0	0		0	0		0	3,588	5,010	-1,422	0		0
	<b>収入合計(A)</b>	<b>8,158</b>	<b>8,254</b>	<b>-96</b>	<b>6,788</b>	<b>7,867</b>	<b>-1,079</b>	<b>15,603</b>	<b>13,500</b>	<b>2,103</b>	<b>93,912</b>	<b>91,491</b>	<b>2,421</b>	<b>10,541</b>	<b>5,820</b>	<b>4,721</b>
支出	人件費			0			0	18,522	19,142	-620	59,882	58,389	1,493	0		0
	事務費			0			0	1,821	1,694	127	5,092	3,454	1,638	0		0
	事業費			0			0	47	10	37	9,227	8,686	541	0		0
	管理費			0			0	0	0	0	12,969	15,232	-2,263	0		0
	その他	7,119	6,470	649	5,915	5,981	-66	0	0	0	3,840	4,462	-622	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0	0	13	-13	0		0
	消費税			0			0			0	0	0	0	0		0
	介護予防プラン委託料	7,119	6,470	649	5,915	5,981	-66			0	0	0	0	0		0
	施設使用料相当額			0			0			0	3,588	3,588	0	0		0
	職員給食費			0			0			0	252	178	74	0		0
その他			0			0			0	0	683	-683	0		0	
<b>支出合計(B)</b>	<b>7,119</b>	<b>6,470</b>	<b>649</b>	<b>5,915</b>	<b>5,981</b>	<b>-66</b>	<b>20,390</b>	<b>20,846</b>	<b>-456</b>	<b>91,010</b>	<b>90,223</b>	<b>787</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>収支(A)-(B)</b>	<b>1,039</b>	<b>1,784</b>	<b>-745</b>	<b>873</b>	<b>1,886</b>	<b>-1,013</b>	<b>-4,787</b>	<b>-7,346</b>	<b>2,559</b>	<b>2,902</b>	<b>1,268</b>	<b>1,634</b>	<b>10,541</b>	<b>5,820</b>	<b>4,721</b>	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。